

平成 19 年 9 月 1 1 日

保護者の皆様

鹿児島市立武小学校
校 長 上妻和夫

子どもたちの交通事故防止について（お願い）

このことについては保護者の皆様もご存知のとおり、一昨日、市内の小学校 1 年生が普通乗用車にひかれて死亡するという痛ましい交通事故が発生しました。

学校においては、交通安全について機会をとらえ、学年の発達段階に応じて繰り返し指導をしているところですが、保護者の皆様におかれましても、住居周辺の道路事情や子どもさんの通学路実態に即した具体的なご指導を行い、交通事故の未然防止に最大限の取り組みをしていただきますようお願いいたします。

子どもから見て、どの方向から進行してくる車が気付きにくい。

左右の確認はするが、右側後方から近づく車両に注意が向かないケースが多い。運転する人は、どの位置にいる人が見えにくい。左折車両の左側タイヤ付近歩行者用信号が青のときは、同一方向の車両用信号も青になっていることが多い。歩行者用信号が青でも必ず止まって左右、後方の確認をする。道路では遊ばない。道路への飛び出しを絶対にしない。

みんなで登下校の交通安全確保を

【学校だより 5 月号から】

武小学校の通学路は、県下でも有数の交通渋滞地域と重なっており、登下校の安全確保が大きな課題となっています。通学保護員の方や P T A 有志の方々のおかげで、幸い人命に関わる大きな事故は発生していませんが、子どもたちの登下校の様子を見ていますと、「危ない」と感じるがよくあります。「左右を確認しないで、道路を渡る」「横に広がって歩く」など、「自分の身は自分で守る」という意識が身につけているとはいえない行動が見られます。学校でも、毎日のように指導しておりますが、なかなか改善されていないのが現状です。

ご家庭でも、お子さんの登下校の様子について尋ねてみてください。また、お子さんの帰りの時刻に合わせて、家の近くまで迎えることは、防犯面からみてもたいへんよいことです。できる範囲内で交通指導や見守りをお願いいたします。

気をつけよう 道路の横断

【学校だより 6 月号から】

小学校の通学路は、城ヶ平橋交差点、武岡トンネル前交差点など県下でも有数の交通量が多い路線と重なり、登下校中の交通安全が最大の課題となっております。これまでも保護者、P T A 専門部、交通保護員の皆様や警察署等関係機関と連携しながら、事故の未然防止のために継続的な取り組みがなされております。しかし、先日もお知らせしましたように、下校中の児童が左折車両に巻き込まれ、大けがをする交通事故が発生しました。学校では、この事故を教訓にして再発防止のため各学級での安全指導、事故発生交差点における歩行者用信号や左折車両の確認、横断のタイミング等を現地で具体的に指導しているところです。保護者の皆様におかれましても、先にお祈りしましたように、個々の通学路上の危険箇所や歩行者用信号が青でも、左右の確認を確実にするなど事故の未然防止について継続的に話していただきますようお願いいたします

